

予算等審査特別委員会

遠野市立博物館展示 改装工事の目的は

問 遠野市立博物館展示改装工事の目的は。

答 博物館は、築30年を経たことによる施設の老朽化の改善、合併による新たな情報紹介（展示替等）の必要性により、平成22年の「遠野物語」発刊百周年を迎えるに当たり、大幅な改修をすることとし

予算等審査特別委員会（議長を除く21人の議員で構成、委員長は菊池民彌議員、副委員長は浅沼幸雄議員）は、条例2件、予算3件、その他3件について付託を受けて2日間の審議を行いました。

今委員会では、遠野市職員給与の引き下げ、雇用対策、アストチャレンジ100事業等について活発な質疑が交わされました。

た。この展示改装工事は、専門性が高いので、国内で1、2番に実績があり、技術面でも優れている2社を指名し、(株)乃村工芸社と3億7千9百5万円で随意契約をした。内容については、「遠野物語」を機軸とした展示構成である。

問 これからの文化行政の方向は。

答 百周年記念事業を一過性に終わらせることなく、多くの市民の参加を頂き「遠野物語」を中心に、前進を実感でき、感動を与える街づくりを目指す。

アカマツの 管理について

問 市民センター体育館脇のアカマツの管理はどうなっているか。

答 昨年の4月頃から枯れ始めてきて樹木医に診てもらっているが、今年の5月

には仮死状態であるとの診断結果が出た。

問 今後の取り組みは。

答 虫によって仮死状態にあるが、多額の費用をかけて移転した松であり、今後手入れだけは続けていく。

問 旧遠野小時代から歴史ある財産ではあるが、そのままでもいいのか。環境保全の観点からもダメになるのを待つというよりも、思い切って整理をして新しい樹木に植え替えるとかの工夫が必要と思うが。

答 確かに診断結果が仮死寸前ということだが、樹木医とも相談しながら樹生回復を待つ。

畜産振興総合センター 整備事業について

問 整備費2百78万6千円の内訳は。

答 旧遠野農協の種雄牛センターの改修工事である。

問 畜産版アストを立ち上げると聞いているが、開始時期や供用範囲は。

答 工事は9月9日工期で、9月上旬から供用開始としたい。供用範囲は、関係4団体の遠野市・東南部NOUSAI・JA花巻・畜産公社で詰めている。

問 現在、同場所に東南部農済の建物を建設中であるが、別棟で仕事をするのか。

答 診療センターとし、獣医・受精師等で行い、今後工事をする旧遠野農協種雄牛センターに遠野市・JA花巻・畜産公社が入る予定で、隣接の中で協議を進める。

問 畜産公社は放牧部門が同施設に入る予定であるが、馬事部門との関連は。

答 色々な案を検討している、当面は協議体方式で運営し、今後の運営を検討していく。

菌床しいたけ事業 補助金の内容は

問 アストチャレンジ100事業の中の8百万円の補助金の具体的内容は。

答 菌床しいたけの株購入の補助金である。栽培技術の進展により通年作付けが可能となり、雇用も確保できるといことから、株購入費の2分の1を補助する



リニューアルオープンが待たれる博物館